

# 授業改善の取組

本校のとらえる「伝統や文化」  
 年間指導計画の工夫と一覧の作成  
 授業の実践とまとめの作成

## 本校のとらえる「伝統や文化」

先に述べたように本校では、「伝統や文化」＝いわゆる伝統文化（日本の人々が昔から大切に受け継いできていること）をとらえ、全体で共有できるように、その具体的な例を一覧にした。

## 年間指導計画の工夫と一覧の作成

伝統や文化を尊重する態度をはぐくむ教育の充実を教育課程全体で推進するために、体験等の充実を図りたい単元等の洗い出しを行った。そして、年間指導計画に「伝」のマークをつけるようにし、全体で意識を高められるようにした。

4	声のひびき合いに 関心をもって歌おう （5時間）	○自分の声の響きに興味 歌唱の活動に積極的 年としてふさわしい自 響きのある歌い方を確 立する。 ・のびのびとした歌声で ・歌詞の内容や歌の情緒 b ・旋律の美しさを味わ ・口形や発音に気を付 ・表現を工夫しながらこ ad	1. 14.	3うつりか わるくらし (1) 昔の道具と くらし	古くから残るく らしにかかわる道 具、それらを使って いたころのくらし の様子や、地域の 人々のくらしの変 化が人々の願いや 知恵によるもので あることを理解し、 地域社会に対する
---	--------------------------------	--	--------	---------------------------------------	---

また今年度は、これを基にさらに効果的な指導を行うため、国語科における伝統や文化に関する単元等の系統と、新たに研究に加えた道徳と他の教科、行事等の関連を一覧にまとめた。国語をはじめとして各教科で系統を意識して指導を行うことや、伝統や文化にふれたり考えたりする時間を積極的に確保すること、行事等で得た考えや感想を基に道徳の時間にその価値や魅力についての理解を深め、今後の態度について考えることなどを円滑に進められるようにした。

## 授業の実践とまとめの作成

昨年度の実践を基に、本年度も1学期に3本の研究授業を行い、伝統や文化に関心を高めたり自分の考えをもったりする授業の充実を図った。

# 本校のとらえる「伝統や文化」

## 季節の行事・催し等

- ・正月 ・初詣 ・節分 ・花見
- ・ひなまつり ・こどもの日
- ・彼岸 ・七夕 ・花火 ・月見
- ・七五三 など

## 祭り

- ・原山稻荷社秋祭り
- ・八雲社夏祭り
- ・十二日まち ・神輿 など

## 生活

- ・和食 ・おせち ・正座 ・米
- ・丁寧なあいさつ ・着物 ・草履 など

## 遊び

- ・将棋 ・こま ・囲碁
- ・たこ ・羽子板 ・かるた
- ・おはじき など

## 武道

- ・柔道 ・剣道
- ・空手 ・相撲 など

## 建物

- ・和室
- ・和風建築（畳・障子・襖）
- ・寺 ・城 ・神社 など

## 算数関係

- ・そろばん
- など

## 国語関係

- ・俳句 ・短歌
- ・昔話 ・物語
- など

## 芸能

- ・おはやし ・琴 ・能
- ・狂言 ・歌舞伎 ・三味線
- ・日本舞踊 ・尺八
- ・和太鼓 など

## 芸術

- ・書道 ・織物
- ・茶道 ・華道 など

伝統文化

日本人々が昔から大切に  
受け継いできていること

☆年間指導計画の工夫 国語(伝国)関係する単元の系統表①(光村)

	4月	5月	6月	7月	9月
1年			「おむすび ころりん」 ・昔話の読み聞かせを聞いたり、発表しあったりする。 ・昔話を楽しんで音読発表会をする。		
2年	季節の言葉 「春がいつばい」 ・春にかかわる身近なものを表す言葉を探す。 ・春の言葉を紹介する。	聞いて楽しもう 「いなばの白うさぎ」 ・知っている昔話・伝承や読み聞かせてもらいたい話などについて話し合う。 ・昔話や神話の読み聞かせを聞く。 ・自分が住む地方の昔話などに興味をもち、図書館で昔話を探して読む。		季節の言葉 「夏がきた」 ・夏にかかわる身近なものを話題にして自分の思いを伝えるようなお便りを書く。 ・韻を踏んでいる詩を読むことの楽しさを感じながら音読する。 ・夏らしいと感じることばを出し、夏の便りを書く。	
3年	「国語辞典の使い方」 ・国語辞典の使い方を理解し、必要に応じて活用する。 季節の言葉 「春の楽しみ」 ・春の行事に興味をもち、それにかかわる語句を集める。	「俳句を楽しもう」 ・大意などを手がかりに情景を想像したり、日本語特有のリズムを感じたりしながら俳句を音読し、文語の調子に親しむ。	「夏の楽しみ」 ・夏の行事に興味をもち、それにかかわる語句を増やす。 ・七夕の短冊に書く事柄を決め、短冊に文を書く。		
4年	漢字の組み立て 「漢字辞典の使い方」 ・漢字のへん、つくりなどの構成について知る。 ・漢字辞典の使い方を理解し、活用する。	きせつの言葉1 「春の風景」 ・春の風景に興味をもち、それにかかわる語句を増やす。	声に出して読もう 「短歌・俳句に親しもう(一)」 ・易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべながら音読する。 いろいろな意味をもつ言葉 ・多義語について知り、興味をもって調べる。	きせつの言葉2 「夏の風景」 ・自然の風景や季節の移り変わりに興味をもち、それを表現する語彙を豊かにする。	
5年	季節の言葉 「春の空」 ・「枕草子」等古文について、内容の大体を知るとともに、語感や言葉の使い方に関心をもつ。 ・昔の人の「春」に対するものの見方や感じ方を参考に文章に書く。	古典の世界(一) 「竹取物語」 「平家物語」 「徒然草」 「おくの細道」 ・昔の人のものの見方や感じ方について知る。 ・言葉の響きやリズムを味わう。 ・内容のたいたいを知る。		季節の言葉 「夏の夜」 ・「枕草子」等古文について、内容の大体を知るとともに、語感や言葉の使い方に関心をもつ。 ・昔の人の「夏」に対するものの見方や感じ方を参考に文章に書く。	
6年	季節の言葉 「春のいぶき」 ・二十四節気と俳句の解説を読む。 ・春を感じる語感、使い方を学ぶ。 ・作文に表わす。		聞いて楽しもう 「河鹿の屏風」 ・場面や人物の様子を想像しながら、昔話を聞く。 季節に言葉 「夏のさかり」 ・二十四節気と俳句の解説を読む。 ・夏を感じる語感、使い方を学ぶ。 ・俳句に表わす。		短歌を作ろう 「たのしみは」 ・短歌のルールを知る。 ・作者の世界観や表現の工夫について知る。 ・短歌を書く。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
	<p>「むかしばなしがいっぱい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔話や伝承などの本や文章を読んだり、読み聞かせを聞いたりし、発表する。</li> <li>・好きな昔話の本を選んで読む。</li> <li>・読んだ本について好きなところを友達に紹介する。</li> </ul>	<p>「日づけとよう日」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日づけの歌を楽しく唱える。</li> <li>・語と語の続き方に注意しながら、なじみの深い日付を自由に書く。</li> </ul> <p>かるたをつくろう</p> <p>「あつまれふゆのことば」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の言葉を集め、かるたの文を作る。</li> <li>・作ったかるたを見せ合ったり、遊んだりする。</li> </ul>		<p>おはなしをたのしもう</p> <p>「たぬきの糸車」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しんだり想像を広げながら昔話を読む。</li> </ul>	
	<p>季節の言葉</p> <p>「秋の一日」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋にかかわる身近なものを表す言葉に興味をもち、秋らしいものについて話し合う。</li> <li>・秋らしいものについてカードに整理し発表しあう。</li> </ul>	<p>季節の言葉</p> <p>「たのしい冬」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬、年末の伝統文化にかかわる言葉を知る。</li> <li>・正月に行う遊びや行事を発表する。</li> <li>・かるたや十二支、春の七草について書かれていまする言葉を音読する。</li> <li>・いろはかるたで遊んだり、十二支や春の七草を覚えて言ったりする。</li> </ul>	<p>聞いて楽しもう</p> <p>「三まいのおふだ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせを聞き、場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げることができる。</li> <li>・昔話の読み聞かせを聞く。</li> <li>・いちばんおもしろかったところを話し合う。</li> </ul>		
<p>「ローマ字」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書く。</li> </ul> <p>「修飾語」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修飾・被修飾の関係など、文の構成について初歩的な理解をもつ。</li> </ul> <p>「秋の楽しみ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の行事に興味をもち、語句を増やす。</li> </ul>	<p>「短歌を楽しもう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知っている言葉を手がかりにして情景を想像したり、日本語特有のリズムを感じたりしながら短歌を音読し、文語の調子に親しむ。</li> </ul>	<p>「言葉を分類する」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」「物や事を表す言葉」を使って、文章をよりよい表現に書き直す。</li> </ul> <p>「冬の楽しみ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の行事に興味をもち、それに関わる語句を増やす。</li> <li>・冬に関する言葉を集めて、文を作る。</li> </ul>		<p>「コンピュータのローマ字入力」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ローマ字でコンピュータに言葉を入力する。</li> </ul> <p>「ことわざについて調べよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ことわざや故事成語の中から調べたいことを決め、必要な事柄について本や辞典を読んで調べる。</li> </ul>	
<p>季節の言葉3</p> <p>「秋の風景」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の風景や季節の移り変わりに興味をもち、それを表現する語彙を豊かにする。</li> </ul>	<p>慣用句</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慣用句の意味や成り立ちを知り、仲間集めをする。</li> <li>・慣用句を使って簡単な文作りをする。</li> </ul>	<p>声に出して読もう</p> <p>「短歌・俳句に親しもう(二)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情景を思い浮かべながら音読する。</li> </ul>	<p>言葉について考えよう</p> <p>「文と文をつなぐ言葉」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・接統語が果たす役割を理解し、使う。</li> </ul> <p>季節の言葉3</p> <p>「冬の風景」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・易しい文語調の短歌や俳句を声に出して読み味わう。</li> </ul>	<p>熟語の意味</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熟語の意味を考え、漢字の組み合わせを調べる。</li> </ul>	
<p>日常を十七音で</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の選び方や表現の効果について、確かめたり工夫したりして、俳句をつくる。</li> </ul> <p>「和語・漢語・外来語」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語感、言葉の使い方に対する感覚に関心をもつ。</li> </ul>	<p>季節の言葉</p> <p>「秋の夕暮れ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「枕草子」等古文について、内容の大体を知るとともに、語感や言葉の使い方に関心をもつ。</li> <li>・昔の人の「秋」に対するものの見方や感じ方を参考に文章に書く。</li> </ul>	<p>古典の世界(二)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文を音読し、漢文特有の言い回しやリズムを味わうとともに、文章の内容の大体を知る。</li> </ul>	<p>聞いて楽しもう</p> <p>「見るなのざしき」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔話の読み聞かせ</li> </ul>	<p>季節の言葉</p> <p>「冬の朝」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「枕草子」等古文について、内容の大体を知るとともに、語感や言葉の使い方に関心をもつ。</li> <li>・昔の人の「冬」に対するものの見方や感じ方を参考に文章に書く。</li> </ul>	
<p>「生活の中の言葉」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語の種類、使い方を知る。</li> </ul> <p>季節の言葉</p> <p>「秋の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二十四節気と俳句の解説を読む。</li> <li>・秋を感じる語感、使い方を調べる。</li> <li>・短歌に表わす。</li> </ul>	<p>ものの見方をとらえ、自分の考えをまとめよう</p> <p>「『鳥獣戯画』を讀む」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者のものの見方を知る。</li> <li>・筆者の考えに対する自分の考えを考える。</li> </ul>	<p>伝統文化を楽しもう</p> <p>「柿山伏」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統文化について知る。</li> <li>・狂言の特徴を知る。</li> <li>・昔の人のものの見方や感じ方を知る。</li> </ul> <p>「日本で使う文字」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮名の由来、日本語の表記、ローマ字との関わりについて知る。</li> </ul>	<p>声に出して楽しもう</p> <p>「天地の文」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容のたいたいを知り、繰り返し音読する。</li> </ul>	<p>季節の言葉</p> <p>「春を待つ冬」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二十四節気と俳句の解説を読む。</li> <li>・冬を感じる語感、使い方を調べる。</li> <li>・手紙に表わす。</li> </ul>	

☆年間指導計画の工夫 国語(伝国)関係する単元の系統表②(教出)

	4月	5月	6月	7月	9月
1年	「あいえお」 ・平仮名を読んで書く。  「しりとり」 ・しりとり遊びと言葉集めをする。	「かき かぎ」 ・清音・濁音・半濁を読む。 「ことばをつなごう」 ・つながる言葉を考えて読んだり書いたりする。 「ねこ ねっこ」 ・促音のつく言葉を書く。 「ごじゅうおん」 ・五十音表を読んだり書いたりする。	「のばすおん」 ・長音を読んで書く。  「しゃしゅしょ」 ・拗音、拗長音の言葉探しをして音読する。	「はをへ」 ・はをへを使って文作りをする。	「かたかなのことば」 ・片仮名で書く言葉を探し書く。 「かんじのはじまり」 ・漢字の成り立ちを知り、漢字を使った言葉や文を探す。
2年	わらべうた (つくしだれの子、おてだまうた) 言葉のリズムや響きを楽しむ。	画と書きじゅん ・「画」「画数」という言葉と、その意味を知る。	なかまの言葉と漢字 ・意味をもとに仲間に分けた漢字について理解する。	ぐりかえしのあるお話を作ろう 「きつねのおきやくさま」 ・繰り返して出てくる言葉に気をつけて読む。 ・繰り返しのあるお話を作る。 「いろは」をしよう ・平仮名47文字を全て使った歌のあることを知る。	二つの漢字でできている漢字 ・二つの漢字でできた言葉の構成について、問題を解きながら確認する。
3年		「国語辞典の引き方」 ・国語辞典の引き方を理解し、わからない漢字の読み方や意味、使い方を調べる。	日本語のひびきにふれよう 「俳句に親しむ」 ・声に出して読み、言葉のリズムを楽しむ。 「きせつの言葉を集めよう-春・夏-」 ・春と夏を感じる語句を増やす。		
4年		「漢字辞典の引き方」 ・漢字辞典の引き方を理解し、わからない漢字の読み方や意味、使い方を調べる。	日本語のひびきにふれよう 「短歌の世界」 ・声に出して読み、感想をまとめる。 「月のつく言葉」 ・月のつく言葉を集める。	物語の世界を想像して、音読したり、えんじたりしよう 「ぞろぞろ(落語)」 ・場面や人物の様子を想像して読む。	
5年		「町じまん」を一つ選んで、すいせんしょう(方言と共通語) ・推薦するもの(お祭り等)のよさが伝わるように説明したり、納得できるかどうか留意して聞いたりする。	日本語のひびきを味わおう 「漢文に親しむ」 ・漢文を声を出して読み、言葉の響きを味わう。 かなづかいで気をつけること ・仮名遣いのきまりを整理し、仮名遣いに注意する言葉について知る。	鳥 ・「鳥」が出てくる言葉や歌、俳句を探す。	
6年			日本語の響きを味わおう 「春はあけぼの」 ・枕草子を読む。 ・声に出して読み、自分の思いを書く。 ・今と当時の言葉との、相違点や共通点に気付く。 「雨」 ・雨に関わる表現を集める。	すぐれた表現を味わいながら、登場人物の心情を読みましよう 「川と刀オ」 ・比喩や反復などと表現を使い、語感、言葉の使い方について気を付ける。	確かな言葉の使い手になる 「心をみせる言葉」 ・言葉の意味や気持ちについて考え、相手や場に応じた言葉遣いで話す。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>「かぞえうた」 ・数を表す漢字を読んだり書いたりする。 「かぞえよう」 ・一から十までの漢数字を正しく読み書く。 「はたらくじどうしゃ」 ・「やくわり」と「つくり」を考えて読む。</p>	<p>「ことばのはたらきをしろ」 ・言葉の区切り方を確かめて読む。  「かたかな」 ・カタカナで書く言葉集めをする。</p>	<p>「天にのぼったおけやさん」 ・好きな場面を読んで、友達に聞いてもらう。</p>		<p>「しりとりをしよう」 ・音節と文字の関係を知り、しりとり遊びをする。 「文をつくらう」 ・主語と述語と修飾語を知り、文作りをして交流する。</p>	
<p>音読発表会をしよう 「かさこじぞう」 ・音読発表会をする</p>	<p>七草をおぼえよう ・春の七草、秋の七草を読んだ歌を知り、音読する。</p>	<p>心にのこったところを、つたえ合おう 「ないた赤おに」 ・心にのこったところを伝え合う。</p>	<p>むかしのお話を楽しもう 「いなばのしろいうさぎ」 ・古くから伝わっている話を、興味をもって聞き、場面の様子を想像する。</p>		
	<p>「きせつの言葉を集めよう-秋・冬-」 ・秋と冬を感じる語句を増やす。</p>	<p>日本の文化に親しもう 「ことわざ・慣用句」 ・ことわざ・慣用句の意味を調べて、カードにまとめる。</p>		<p>調べてほうこくしよう 「町の行事について調べよう」 ・町の行事について調べる。 ・図や写真、表などをえらんで発表する。</p>	<p>物語を読んで、手紙を書こう 「おにたのぼうし」 ・登場人物の心の動きを想像して読む。</p>
<p>「もみじ」 ・秋に関する歌や言葉を集める。 ぶんたんして図かんを作ろう 「『不思議図かん』を作ろう」 ・「不思議図かん」を作る。 ・資料を活用し、紙面をくふうして作る。</p>		<p>日本の文化に親しもう 「故事成語」 ・故事成語を集めて意味を調べ、カードにまとめる。</p>		<p>ポスターを使って発表しよう 「調べてわかったことを発表しよう」 ・調べてわかったことを発表する。 ・写真やグラフなどの資料をもとに説明する。</p>	<p>「付録「百人一首」を読もう」</p>
<p>和語・漢語・外来語 ・和語・漢語・外来語の特徴をおさえ、それぞれの言葉の使い方について考える。 詩を味わおう ・様々な昔の作品を読みながら、詩の世界を楽しみ、自分の考えをまとめる。 敬語 ・敬語のはたらきと種類を理解して、正しく使う。</p>	<p>多様な情報を読み取り、自分の考えを深めよう 「世界遺産 白神山地からの提言」「意見文を書こう」 ・多様な情報を読み取り、自分の考えを深める。</p>	<p>日本の文化を考えよう 「古典を楽しむ」 ・昔から読みつがれている物語を読み、感想を書く。 俳句・短歌を作ろう 「子ども句会を楽しもう」</p>	<p>折句を作ろう ・各句や各行の初めに、意味のある言葉を入れて、「折句」を作る。</p>		
<p>詩を味わおう 「イナゴ」 ・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつ。 主語を整える ・主語を意識して述語との関係を捉え、より自然な文章を書く。</p>	<p>回文を作ろう ・語感に注意しながら、「回文」への理解を深め、回文を作る。</p>			<p>日本の文化を考えよう 「言葉は時代とともに」 ・「万葉集」や「近代」の文章などから、それぞれの時代の人々のものの見方や言葉の変化に気がつく。 日本語の文字 ・漢字・仮名・ローマ字の特徴を理解し、正しく使い分ける。</p>	

☆年間指導計画の工夫 道徳(郷土愛)に関する系統表① 低4-(5) 中4-(5) 高4-(7)

	4月	5月	6月	7月	9月
1年	入学式 1年生を迎える会	音楽「にっぽんのうたをうたおう」	運動会	音楽「きせつのうたをうたおう」	[大すきなわたしの町] 4-(5) 「みんなのぶんかさい」
2年	音楽「音楽となかよしになろう」 始業式 1年生を迎える会	生活科「ときどきわくわく町たんけん」 生活科「生きものなかよし大さくせん」	運動会		[きょう土をあいする心] 4-(5) 「ふるさと先生」
3年	音楽「歌声をひびかせよう」 始業式 1年生を迎える会		運動会	総合「すてき発見、学校大すき」	社会「店の人の仕事」 音楽「曲に合った歌い方を身に付けて発表しよう-校内音楽会に向けて-」
4年	音楽「歌声をひびかせよう」 クラブ活動(1年間) 始業式 1年生を迎える会	音楽「日本の春を感じ取ろう」	運動会	算数「そろばん」 音楽「日本の夏を歌おう」	
5年	社会「日本は世界のどこにある？」 始業式 1年生を迎える会	社会「自然条件と人々のくらし」	運動会	[郷土を愛する心] 4-(7) 「龍勢ロケットはっしや」 社会「米作りのさかんな庄内平野」 赤城自然の教室	社会「自動車をつくる工業」
6年	総合「世界の果てまで行って原山」(4月~12月) 音楽「声のひびき合いに関心を持って歌おう」 始業式 入学式 1年生を迎える会	社会「大陸に学んだ国づくり」	社会「室町の文化」 運動会	音楽「いろいろな演奏のみりよくある表現を感じ取ろう」	[日本人の心のすばらしさ] 4-(7) 「古きよき心」 社会「新しい文化と学問」

道徳・・・太字 行事・教科等・・・斜体 \*国語は、前のページを参照ください。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
音楽「どれみでうたおうーこうないおんがくかいにむけてー」 校内音楽会 開校記念日	〔ふるさとにしたしむ〕4－(5) 「だいすき！わたしたちのまち」 持久走会	人権週間	生活科「ふゆをたのしもう」 給食週間		音楽「みんなでこえをあわせてうたおう」 6年生を送る会（児童集会）
生活科「みんなでつかうまちのしせつ（宇宙科学館）」 音楽「きよくに合った歌い方を見つけて発表しよう」 校内音楽会 開校記念日	生活科「見つけたよ、楽しい秋」 図工「ちぎゅうからのおくりもの」 図工「あきをならべていいかんじ」 持久走会	音楽「おまつりの音楽をたのしもう」 人権週間	生活科「あしたへジャンプ」 体育「すもう遊び」 給食週間	音楽「にっぽんのうたみんなのうたを楽しもう」	〔「まち」を大切に〕4－(5) 「この町がすき」 生活科「もうすぐ3年生」 6年生を送る会（児童集会）
図工「いつもの場所で」 校内音楽会 開校記念日	〔日本の文化やでんとうを知ろう〕4－(6)「ふるしき」 音楽「世界の歌を楽しもう」 総合「みんななかよし大作戦」 持久走会	社会「工場の仕事」 人権週間	社会「昔の道具とくらし」 給食週間	社会「昔から受けつがれているもの」 総合「高齢者の方との交流」	〔きょう土をあいする心〕4－(5) 「心の花たば」 学級活動「もうすぐ4年生」 6年生を送る会（児童集会）
〔日本を知ってこそ世界のみんなと〕4－(6) 「留学生との楽しい時間」 音楽「せんりつに合ったひびきで歌おうー校内音楽会に向けてー」 校内音楽会 開校記念日	社会「井沢弥惣兵衛と見沼の開発」 音楽「お祭りや民ようを楽しもう」 持久走会 小中合同音楽会 校外学習「川越くらづくり・大久保浄水場の見学」	〔きょう土を愛する心〕4－(5) 「みんなの思いが伝わるといいな」 人権週間	給食週間	社会「埼玉県の人々のくらし」	算数「算数おもしろ旅行」 学級活動「もうすぐ5年生」 6年生を送る会（児童集会）
〔郷土を愛する心〕4-(7) 「わたしの心のアルプス」 音楽「音楽の旅をしよう」 校内音楽会 開校記念日	〔日本の美を伝える〕4-(7) 「もう一つの塔」 音楽「豊かな表現を求めよう」 家庭「食で元気に」 持久走会	人権週間	社会「森林を守る人々」 理科「人の誕生」 給食週間	音楽「心をこめて表現しよう」	家庭「家族とのふれあいを楽しもう」 学級活動「もうすぐ6年生」 6年生を送る会（児童集会）
家庭科「楽しい食事をくふうしよう」 校内音楽会 開校記念日	〔国を愛する心〕4-(7) 「勝海舟」 家庭科「くふうしよう楽しい食事」 修学旅行 持久走会	英会話 「世界の扉を開けよう」 音楽「日本の音楽を伝えよう」 人権週間	給食週間	社会「日本とつながりの深い国々」 巣立ちの会	音楽「音楽に思いをこめて表現しよう」 6年生を送る会（児童集会） 卒業式





### 3 行感想より

※本校では研究授業の際、協議会を深めるために参会者に 3 行程度の感想を書いてもらう取組を行っている。

#### <2 年生研究授業>

昔話に興味をもって親しんでいる様子がよくわかりました。読んだ本をクイズにするのは、子どもたちにとって楽しい活動になり、より読んでみたいと思う一歩になったのではないかと思います。読み聞かせを途中で止めたのは、さらに興味を引いたと思います。

#### <3 年生研究授業>

楽しく活動しながら五・七・五の俳句の特徴をつかんでいたと思います。指で言葉の文字を数えながら一生懸命に答えを出している姿がとても輝いていました。クイズの答えが違っていてもぴったり合うものもあり、広がり子ども達の中にも感じられたともいます。「いっぱい想像が膨らんだ。」という発言の中身をもっと聞きたかったです。

#### <5 年生研究授業>

道徳の本に載っているお話と身近なものをつなげて児童に提示することで、ねらいの「自分たちの郷土を愛する心情」をより深く育てることができたのではないかと思います。なかなか聞くことのできない原山おはやし会の方の話聞くことも、ねらいに迫ることにつながると感じました。